

コスモ・スクールうすだ



2学期を振り返って

竣工式

夏休み中にグラウンドが完成し、8月24日(木)には佐久市および佐久市教育委員会主催の竣工式を挙行了。市議会議員様、臼田地区の各区長様、建設に携わっていただいた各企業様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご列席いただきました。

テープカットには、児童代表4名と校長先生が参加しました。また全校児童が校庭に移動してからは、記念セレモニーとして、ドローンによる記念撮影と消防団第3方面隊の皆様による記念放水が行われました。

最新の設備を兼ね備え、佐久市産の材木でできた腰壁は汚れや傷の防止効果だけでなく、暖かさを醸し出してくれます。素足で歩くこともできる校庭では、毎日多くの児童が鬼ごっこやサッカーで爽やかな汗を流しています。当たり前ではないこの環境に、児童職員一同、心より感謝しています。



運動会



9月30日(土)には運動会を開催しました。運動会は、日頃の体育学習の成果をご覧いただく場でもあります。体育での学習内容を取り入れた表現運動や学年競技、リレーや短距離走、そして全校種目をご覧いただきました。衣装を図工で作ったり、家庭科でゼッケンをビブスに縫い付けたりと、他教科との合科学習に取り組んできた学年もありました。特に6年生は組体操で、指先足先まで気持ちを込めて息の合った集団演技を見せてくれました。全校児童一人一人が目的と願いをしっかりと持ち、表現したい自分の姿に向かって全力で取り組んだ運動会でした。

昔の暑さとは違い、今年は記録づくめの暑い9月でしたので、臼田支所や商工会から多くのテントをお借りし、熱中症対策を行いました。体育の授業では、1時間に何度も水を飲む時間を確保しました。暑い中応援に駆けつけてくださった保護者やご来賓の皆様、準備や片付けにご尽力いただいた皆様のおかげで実施することができました。ありがとうございました。

クラブ活動

4年生以上が所属するクラブ。今年は「インドア球技、バドミントン、アウトドアスポーツ、ダンス、フラワーアレンジメント、自由工作、手芸、粘土・陶芸、折り紙工作、イラスト・絵手紙、ボード・カードゲーム」の11クラブでスタートしました。

総勢40名という多くの地域講師の皆様にご指導に入らせていただきました。地域とつながり、学年を超えた他者とつながり、同じ願いを持った子どもたちが集うクラブ活動。子ども達が最も楽しみにしている時間の一つでした。ご協力いただいた地域講師の皆様、ありがとうございました。



5年生米作り（脱穀）

5年生の脱穀でも、地域講師に入っていました。今年は子ども達のできるだけやってみようと、1学期から代掻き、田植えと進めてきました。農協の皆様にも、苗や肥料、主要な作業でお力添えをいただきました。子ども達は機械を通る稲が、一瞬で籾と藁になっていく様子を食い入るように見つめていました。



佐久ロータリークラブの皆様と植樹

11月1日(水)には、佐久ロータリークラブの皆様と植樹活動を行いました。植樹には、4年1組の児童が学校を代表し参加しました。植えたドウダンツツジは、運動会本部席に使用したテントや清掃用具とともに佐久ロータリークラブから寄付していただいたものです。来年度には一回り大きくなって、緑の葉や紅葉した真っ赤な葉に囲まれるのが楽しみです。佐久ロータリークラブの皆様ありがとうございました。



人権教育



11月13日(月)から1週間は、人権教育(なかよし)週間でした。各クラスで人権に関する学習い、児童玄関には各学年で作成した「〇〇の木(ニコニコの木、あいがどうの木、みんなステ木等)」には、友達への感謝やなりたい自分について一人一人が書いた色画用紙の花がたくさん貼り付けられました。

校長先生は全校集会で、優しいことをすると美しい花が一つ咲くという「花さき山」を読み聞かせてくださいました。子ども達の真心で、学校中にきれいな花をいっぱい咲かせてほしいです。

11月16日(木)には、長野県社会福祉協議会の川崎昭仁様を講師に迎え、「みんな違ってみんないい～自分らしく生きる～」と題した講演が行われました。川崎さんは、小さな時から手足が麻痺し、車椅子に乗るギタリストです。東京パラリンピックの開会式では布袋寅泰氏の隣でギターを演奏されました。ご自身の生き方考え方を伝えていただくとともに、後半はバンドメンバーと生ライブを行っていただきました。「生き方がカッコいい」と語った6年生もいました。

航空写真撮影

昨年度は、旧4小学校で閉校記念航空写真撮影が行われましたが、本年度は11月14日(火)に、晴天の中、開校記念航空写真撮影を実施しました。

児童数が多いので、校庭に描いた校章や2023の字も大きく、迫力がある写真になりました。多くの子ども達が既に経験しているため、撮影はとてもスムーズに行われました。



読み聞かせ

読み聞かせボランティアの皆様が、11月24日(金)には1~3年生に、28日(火)には高学年に読み聞かせを行っていただきました。朝の活動の時間に、子ども達が聞き入る姿、大きな声や指を差しながら反応する姿が各クラスで広がっていました。読み聞かせボランティアの皆様も、どんな本に児童が興味を持つのだろうと想像しながら複数の本を選び、持参していただきました。朝から穏やかに本の世界に浸る時間を作っていただきました。

11月30日(木)には、まあるいたまごさんが、各学年に読み聞かせを行っていただきました。パネルシアター、大きな絵巻物、ペープサート、手作り紙芝居と、見ごたえがあり、各学年に応じたメッセージ性豊かなお話をお聞きました。お話の世界に自然に引き込まれる貴重で素敵な時間でした。

この時期に読書旬間も実施され、図書委員会による紙芝居や読書ビンゴ・シークレット本等の企画や、姉妹学級による読み聞かせも行われ、全校児童が本に親しみました。



スケート教室



1年生は12月1日(金)に、2年生は12月7日(木)にスケート教室を実施しました。本年度の会場は両学年とも松原湖高原スケートセンターです。保護者や地域の皆様も松原湖高原スケートセンターでスケートを楽しんだり、開かれた大会に参加したりした方が多いのではないのでしょうか。

初めてスケートを体験する子ども達も多くいましたが、どんどん上達しながら、氷の上を「滑る」感覚をつかんでいきました。「楽しかった!」「もっともっと滑りたかった!」と笑顔で帰校しました。

スケート教室には、多くの保護者の皆様にご参加いただき、靴紐しばり、準備・片付け、トイレ、氷上の各支援をしていただきました。ご自身のスケート靴で滑る方もいらっしゃり、臼田地区にスケート文化が引き継がれてきたことがよく分かりました。友達と一緒に笑顔で氷と親しむ、とても楽しいスケート教室になりました。

金管バンドクラブありがとうコンサート

12月2日(土)に、金管バンドクラブによる「ありがとうコンサート」が開催されました。大きな多目的ルームがお聞きいただく方で埋め尽くされるほどの盛大なコンサートになりました。

これまで、小満祭、音楽会、運動会、交歓演奏会で発表してきた思い出の曲も披露しましたが、練習を重ねた成果を発揮し、曲想豊かでまとまりのある演奏をお聞きいただけたのではないのでしょうか。

6年生は、このコンサートで自身が演奏する活動が終了しました。これからは、後輩の演奏を指導していきます。金管バンドクラブの6年生、これまでお疲れ様でした。素晴らしい演奏をありがとう。ございました。



5年生 しめ縄づくり

5年生が自分たちで育てた稲わらを使って、お正月に飾るしめ縄を作りました。教えてくださったのは地域講師の3名の方々。ほとんどの子ども達が初めての経験でしたが、友だちと協力したり講師の方に助けをいただいたりして、全員が一人一本ずつ完成させることができました。



4年生 琴の学習

4年生が音楽の授業で琴の演奏体験をしました。琴の音色を耳にすることはあっても、実際に触れたり演奏したりするのは貴重な機会でした。師範をされている地域講師の方に教えていただき、「さくらさくら」を練習しました。爪を付けて弦をはじくのは、思いのほか、難しかったようです。



校長室だより

守られている自分

校長 井出 誠一

三年生の子ども達が、社会科の授業で「事故や事件からくらしを守る」の学習をしたときのこと。警察の仕事について学ぶとともに、安心の家や見守り隊など、安全を守る地域の活動についても学ぶ单元である。子ども達にこんな問いを投げかけてみた。

「警察の人がみんなの安全を守る仕事をしてきているのに、どうしてわざわざ地域の人たちが安全を守る活動をしているのだろう？」

多くの子どもが「警察の人たちだけでは仕事が大変だから」と考えていた中で、A子さんが、

「地域の人たちが、子ども達のことを自分たちで守りたいと思っているから。」

と発言した。彼女の発言に大きくうなずく子ども達。きっと、子ども達の頭には、毎日見守ってくださっている地域の方の顔が浮かんでいたに違いない。授業の振り返りで、B男さんは、

「いろいろな人たちに、ぼくらは守られている。」

と書いた。子ども達が、安心の家や見守り隊をはじめとする地域の方の願いを慮（おもんばか）り、それに守られている自分の存在を意識することができた一時間だった。

二学期が終わりを迎えようとしている。開校後間もない中、私たち教職員も手探りで子ども達の学習や活動の充実を図ってきた。しかし、私たちにできることには限界がある。そこに力を貸してくださったのが地域の学習ボランティアの皆さんである。その活動の一部を上記で紹介させていただいた。関わっていただいた方は例外なく、笑顔で親身に子ども達に接してくださった。安心の家や見守り隊の方々がそうであるように、学習ボランティアの方一人一人が「子ども達を守りたい」と願って参加して下さっていたのが伝わってくる。

子ども達は、毎日多くの人と関わって生きている。その関わりが子ども達の成長を促していることは言うまでも無い。特に、自分を守ってくれる大人との出逢いは重要である。B男さんのように「ぼくらは守られている」と感じる場面は意外と少ないからだ。「守られている自分」を意識することは、自分の未熟さや無力さと向き合うことでもある。それは自分を卑下することとは異なる。むしろ、謙虚に自分を見つめ、成長の礎（いしずえ）を築く大事な場面である。

子ども達には、これからも地域の方に守られている自分を深く感じ取って欲しい。そして私自身も、子ども達を力強く守れる一人になりたい。

【編集後記】

白田小学校初年度の2学期が終わります。今学期も保護者や地域講師、ボランティアの方のご協力を得て、様々な活動を実施することができました。陰になり日向になりご支援いただきましたこと深く御礼申し上げます。

これまでありがとうございました。よいお年をお迎えください。 [教頭:鶴田孝一]

佐久市立白田小学校 〒384-0303 佐久市下小田切165番地 | TEL 0267-82-1651